# 令和５年度　立川市立第九小学校　授業改善推進プラン

| | |
|---|---|
| 学校の教育目標 | ○思いやりのある子<br>◎自ら学ぶ子<br>○たくましい子 |

| 児童に育成を目指す資質・能力 | 複数の教科や学年全体に共通する取組 |
|---|---|
| ○基礎的な知識と技能<br>○自分で考え行動する力 | ・どの子にも分かる授業の工夫<br>・学習に対する関心、意欲の向上 |

| 教科 | 教科で育成を目指す資質・能力 | 資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など） |
|---|---|---|
| 国語 | ○根拠となる叙述を明確にしながら考え、人物の気持ちの変化を場面のつながりで考えたり、人物の行動や会話文から人物像を捉えたりする力。<br>○漢字を読み書きする技能や語彙を増やす。<br>○本文を読んだ後、もっと知りたい、なぜと思えるところを見付け、自ら「読みたい」という関心・意欲。 | ・自分の立場や考えの根拠が明確になるように、日頃から重要な文章や言葉を示しながら話をしたり、読んだりする機会を多く取り入れる。<br>・辞書を一人一人が持ち、辞書を引く習慣を付ける。<br>・中心となる言葉や叙述に注目して読むように視点を与え、書き手の意図にまで気付けるようにする。 |
| 社会 | ○課題解決に向けて、資料を選んだり、調べたりしながら適切に表現する力。<br>○社会的な事象について理解を深めるとともに、自分の生活へ生かそうとする意欲をもち、主体的に学習課題を解決しようとする態度。 | ・教科書や図書館の本、デジタル書籍、インターネットの情報等を活用する機会を設け、自分の課題解決に合ったものを選べるようにする。<br>・学年に応じて、自分に合った表現の方法を見付けさせ、まとめることができるようにする。<br>・ニュース等を話題にし、自分の生活と関連付けて考えられるような導入や展開を工夫する。 |
| 算数 | ○基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、理由を考えながら立式、計算したり、それを説明したりする力。<br>○日常の事象を、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力。<br>○数学的活動の楽しさやよさに気付き、学習を振り返って、よりよく問題解決しようとする態度。 | ・原理・原則を理解し活用できるようにするために、それらが成り立つ理由や、それらを活用することのよさなどについて考える時間を設ける。<br>・既習事項を確認する時間を適宜設けたり、学習を通して得られた知識･技能を活用して発展的な課題を解決したりするような学習計画を立てる。<br>・具体的な事象を用いた文章題を提示したり、タブレット PC で視覚的に分かりやすい教材を共有したりする授業を行う。 |
| 理科 | ○観察、実験などを通し、問題解決する力。<br>○自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度。 | ・実験や観察などを正確に行えるよう、集中して話を聞く環境を作る。<br>・自分の力で考え表現する力を伸ばすため、予想したり、考察したりする時間を十分に取る。<br>・定期的に知識がより定着するような課題を与える。 |
| 生活 | ○出来事や友達、身近な人への興味・関心。<br>○様々な人と交流したり観察したりするなどの積極的な態度。<br>○予想や気付いたことを自分なりに表現できる思考力や表現力。 | ・学習したことの中から「考えたこと、気付いたこと」を伝え合う活動を　多く取り入れていく。<br>・社会および自然に対する児童の思い･願いを大切にした活動を取り入れる。<br>・観察カードの書き方や、まとめ方の指導の機会を増やしていく。 |
| 音楽 | ○曲想と歌詞の内容、旋律の特徴との関わりについての知識・技能。<br>○根拠を基に自分の思いや意図をもち、表現や鑑賞に生かす力。 | ・既習事項を提示し、学んだことを生かしながら「歌って試す」「演奏して試す」時間を増やす。<br>・発問を工夫し、取り組む内容が具体的に分かるよう活動を焦点化し、児童が自分の考えをもって活動できるようにする。 |
| 図画工作 | ○学年に応じた知識・技能及び、自由に表現できる力。<br>○豊かな生活を創造しようとする態度。 | ・自由に表現するために必要な基本的な技能をしっかり身に付けさせ、ゆとりある時間の中で作品を制作させる。<br>・作品を丁寧に制作させ、完成に向けて一人一人を支援するとともに、振り返りやまとめを通して自己肯定感を高められるようにする。 |
| 家庭 | ○調理や裁縫に関する基礎的・基本的な知識や技能。<br>○家庭生活における様々な工夫に気付き、主体的に改善しようとする態度。 | ・実践を通して技能を高める機会を増やす。<br>・用語についての知識を定着させるために、ワークシートや視覚教材を活用する。<br>・調理や洗濯などの実習を振り返り、考えや意見を伝え合う場面を多く設定する。 |

| | | |
|---|---|---|
| 体育 | ○運動の特性に応じた行い方の知識及び、基本的な技能。<br><br>○自己の課題を見付け、その解決に向けて活動を工夫することができる力。<br><br>○運動に親しみ、楽しみながら活動しようとする態度。 | ・児童が運動する時間を十分に確保する。<br>・導入で主運動につながる動きを取り入れる。<br>・振り返りをする時間を設け、次時の課題が設定できるようにする。<br>・課題の解決に向けた場を選べるようにする。<br>・具体的に称賛するなど、教師の声掛けを工夫する。 |
| 外国語 | ○英語に親しみ、自分の思いや考えを英語で伝えようとする態度。<br>○自分の考えや思いを積極的に英語で話したり、書いたりすることができる力。 | ・アクティビティを多く取り入れ、楽しみながら英語の発音を聞いたり、発音したりする。<br>・単元で使う単語や表現を繰り返し発音したり、自分の思いや考えの伝え方を例示したりすることで、アクティビティに参加しやすくする。<br>・書く活動を多く取り入れ、正しくアルファベットが書けるようにする。 |